

2018年9月23日

課題名：救急ICUに入室し48時間以内にリハビリテーションを開始した患者の離床とADLの現状

◆研究の目的と概要◆

近年、集中治療領域では、早期リハビリテーションを導入する施設が増加しています。入院早期からリハビリテーションを開始することで、日常生活活動や生活の質などは維持向上しますが、早期リハビリテーション開始が困難であった症例の報告は少ないのが現状です。当院の救急ICUに入室した患者様に対して、早期リハビリテーション開始が遅延した時の退院時の日常生活活動を調査することにしました。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から、2018年7月までの間に、18歳以上で当院の救急ICUに入院しリハビリテーションを施行した方。

◆研究に使用される情報・試料◆

救急ICUに入室となった原疾患、リハビリテーション開始が遅延となった理由、年齢、性別、BMI（Body Mass Index）、外傷重症度スコア（ISS）、APACHE2スコア、意識障害スコア（GCS）、人工呼吸器使用率、入院から理学療法開始日～歩行開始日と施行率、歩行自立日と自立率、せん妄発症率、入院から救急ICU退出日、在院日数、自宅退院率、理学療法開始/終了時の機能的自立度評価（FIM）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 川田 稔

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明